

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス



せっかく色々と余裕も感じられる全館開催となってコミケット完全復活！……と思うまもなく、今回からまた当分窮屈な開催になってしまうわけですがこれも未来のため！

もっと快適な環境でコミケットを楽しめる日を夢見て、色々とちょっとだけガマンしたり譲り合いながら、今回からのコミケットを楽しんでいきましょう。



■■アナタは、どこにいますか？■■

ご存知の通り、継続中の東京ビッグサイト大規模改修が東地区にも及ぶため、東1,2,3ホール／4,5,6ホールが順次使用できない状態となる。ホールそのものだけでなく、中央部ホール間のガレリアや2階の飲食店、外部のトラックヤードなども半分ずつ使用できなくなり、その影響はかなり大きなものとなることが予想される。特に今回は東地区大規模閉鎖の最初に当たる回なので、ある意味何が起こるか予想しきれない。とはいえ、参加者側としては何が起きても大丈夫のように色々と余裕を持って準備をして参加するしかないので、今一度自分の参加スタイルや準備を見直してみよう。

会場であるビッグサイトは改良され、コミケットは存在し続けるためにどんどん変化していく。参加者側も置いていかれるわけにはいかない。備えよう。

■耳を塞がず、顔を上げよう■

大前提として、コミケットの会場とその周辺では（朝や混み合っている時は特に）ヘッドフォンやイヤフォンで耳を塞いだり、スマホの画面を見ながら歩くことは避けるべき行為だ。そして今回は特に会場の工事の都合上、入場時も会場内でも様々な導線変更や誘導・注意がある可能性が高い。

コミケスタッフが声がけをしたり、案内表示を出したりと少しでもスムーズな誘導をと頑張っても、参加者側が耳目を塞いでいたのではうまくいかない。当然、指示が伝わらなかった参加者も、状況がよく理解できないまま行動することで遠回りや並び直しなどで余計に時間や体力をロスしたり、時には危険な目に遭うようなこともあるかもしれない、これではどちらにとっても利が無い。

今回は意識して耳を塞ぐものを外し、画面から顔を上げ、周囲の状況やスタッフの声に注意をはらって参加することを心がけてほしい。

移動する、列を作る、待機する、コミケットの基礎動作ともいうべきこれらには、周囲の参加者同士の連携が不可欠だ。たったそれだけのことで、事故やトラブルを回避し、人が多いことから生じる会場のストレスの低減という意味で、数万人という数の参加者が協力的になることの意味は決して小さくはない。



●再確認・会場行動のキホンの基本

- 一、会場内やその周辺では絶対に走らない。周囲の参加者を押しのけない。
- 一、コミケスタッフの指示や誘導がある時はよく聞き、それに沿って行動する。
- 一、行列はできるだけ隙間を空けず前後左右整然と並び方が早く進む。割込み厳禁。
- 一、常に周囲の参加者同士目を配り、困ったり、体調が悪そうなら進んで手を貸す。
- 一、窃盗、盗撮、痴漢、詐欺などの犯罪行為にも注意しあい、被害者を出さない。
- 一、他の参加者も尊重し、暴力、暴言その他迷惑行為や利己的な行為を行わない。